

みなかみ町は

「生ごみの減量」と「食品ロスの削減」に取り組んでいます

群馬県内で排出されたごみの約35%が「生ごみ」です。

そのうち、本来食べることができたのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。

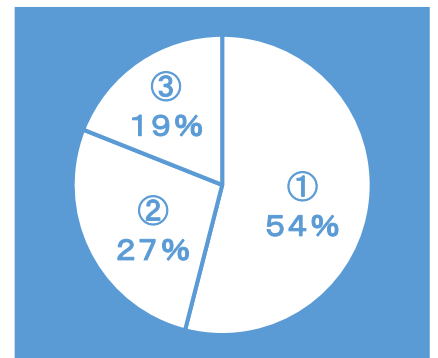
捨てられてしまう食品の量を、日本人一人あたりに換算すると、毎日お茶碗一杯分の食べ物を捨てている計算になります。

食品ロスの削減は生ゴミの減量につながりますので、家庭での取り組みが重要になります。

<家庭での食品ロスの内訳>

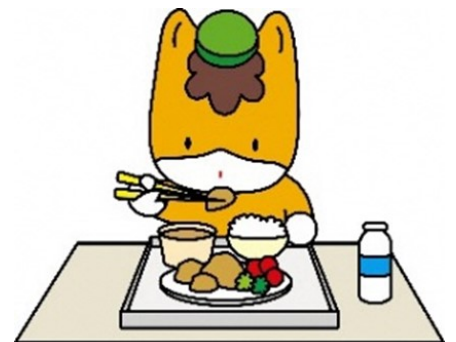
- ①過剰除去・・・皮を厚くむきすぎたり、取り除きすぎ捨てられた
- ②食べ残し・・・作り過ぎで食べられず捨てられた
- ③手つかずのまま廃棄・・・開封されないで期限切れとなり捨てられた

平成26年度 食品ロス統計調査（農林水産省）



★家庭での生ゴミの減量と食品ロスを減らすヒント★

「ぐんまちゃんの3きり運動」をご紹介します



ぐんまちゃん
2019-100542

食材を**使いきる**・・・必要な食品を、必要な時に、必要な量だけ購入しましょう

料理を**食べきる**・・・献立や調理方法を工夫して、料理を食べきりましょう

捨てるときは**水をきる**・・・しっかり水切りをして、ごみの重量を軽くしてから捨てましょう